



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 武蔵野興業株式会社
 コード番号 9635 URL <http://www.musashino-k.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎 雄司
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3352-1439

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	401	29.9	22	87.6	28	84.2	20	84.2
2019年3月期第1四半期	572	31.7	178	370.4	183	339.8	129	379.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 20百万円 (84.5%) 2019年3月期第1四半期 129百万円 (370.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	19.58	
2019年3月期第1四半期	123.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	6,461	3,773	58.4	3,606.17
2019年3月期	6,466	3,753	58.0	3,587.01

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,773百万円 2019年3月期 3,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	780	18.5	10	93.7	20	88.3	10	91.7	9.56
通期	1,570	7.0	20	85.6	40	75.3	20	83.6	19.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,050,000 株	2019年3月期	1,050,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,546 株	2019年3月期	3,546 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	1,046,454 株	2019年3月期1Q	1,046,492 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、大型連休や訪日客によるサービス消費が国内経済を下支えしたものの、一方で世界経済の減速の影響もあり、景気の展望は依然として先行き不透明感が続いている状況であります。このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、映画事業部門におきましては、「武蔵野館」「シネマカリテ」において見応えのある作品を多く上映し、また「武蔵野館」100周年記念事業として特別上映を行うなど、話題を提供してまいりましたが、興行成績は当初の見込みを下回りセグメント損失を計上いたしました。一方、不動産事業部門、自動車教習事業部門におきましては、業績は前年同期と比べ減少したものの、概ね当初の見込み通り推移いたしました。以上のことから、全体として売上高は4億1百万円（前年同期比29.9%減）、営業利益は2千2百万円（前年同期比87.6%減）、経常利益は2千8百万円（前年同期比84.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2千万円（前年同期比84.2%減）となりました。なお、2019年3月期は不動産投資に係る一時的な収入を売上高に計上したため、対前年同期比は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも減少しております。

当第1四半期連結累計期間のセグメント情報ごとの業績の状況は以下の通りであります。

（「生産、受注及び販売の状況」については、当社は映画事業や不動産事業を中心に業態を形成しており、受注・販売形式の営業活動は行っておりません。販売の状況については、下記に示したセグメント情報ごとの業績の状況をご参照ください。）

(映画事業部門)

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、『アナと世界の終わり』『アメリカン・アニマルズ』、また「シネマカリテ」では、『美人が婚活してみた』『ビューティフル・ボーイ』等、良質な作品を多く上映し、さらには、「武蔵野館」100周年記念事業として、『カリガリ博士』等の活弁上映を行うなど、ミニシアターならではのこだわりのある作品を上映してまいりましたが、全体的に映画興行収入は伸び悩みました。一方、映画配給関連事業に係る営業費用の発生は前年同期に比べ減少し、その結果、部門全体の売上高は1億4千3百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期は1千5百万円のセグメント損失）となりました。

(不動産事業部門)

賃貸部門におきましては、テナントビルの入居・管理状況に大きな変化はなかったものの、減価償却費の増加等により営業成績は前年同期をやや下回りました。販売部門におきましては、当第1四半期連結累計期間におきましても具体的な営業活動の成果を挙げるには至りませんでした。その結果、部門全体の売上高は1億4千3百万円（前年同期比50.8%減）、セグメント利益は8千5百万円（前年同期比63.7%減）となりました。なお、2019年3月期は不動産投資に係る一時的な収入を売上高に計上したことを大きな理由とし、対前年同期比は、売上高、セグメント利益のいずれも減少しております。

(自動車教習事業部門)

卒業時期を迎えた高校生を中心とした運転免許取得需要も一段落し、自動二輪や大型自動車、特殊自動車免許等、普通自動車免許以外の教習メニューのPRにも力を入れて幅広く営業活動を行いました。入所者数は概ね前年同期並みとなりました。また、教習メニューの消化が進まず、教習生の卒業時期が翌四半期にずれ込み収益に結びつかないケースもあり、その結果、部門全体の売上高は9千3百万円（前年同期比13.4%減）、セグメント利益は2千4百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

(商事事業部門)

東京都目黒区において経営委託している飲食店は、季節に応じたメニューやオリジナル・グッズの開発・販売に力を入れましたが、営業成績は前年同期を若干下回りました。その結果、部門全体の売上高は1千9百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

(その他)

主としてマクミラン・アリスの著作権手数料や自販機手数料であります。部門全体の売上高は1百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は0百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、一部流動資産等の増加はあったものの、主として減価償却費等の計上で有形固定資産が減少し、前連結会計年度末に比べ4百万円減の64億6千1百万円となりました。

負債合計は、買掛金等の増加はあったものの、未払法人税等の減少や有利子負債の返済を進めたことなどから、前連結会計年度末に比べ2千4百万円減の26億8千7百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ2千万円増の37億7千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期におきましては、映画事業において、映画興行収入が当初の予想に比べ減少となりセグメント損失を計上したものの、他のセグメントは概ね見込み通りの業績となり、グループ全体としては営業利益を確保することが出来ました。しかしながら今後、自動車教習事業部門の教習生獲得数の減少や、主要テナントビルにおける設備更新工事に係る修繕費等の発生が予想されることもあり、それらが今後の収益へ与える影響を現在精査中であります。従いまして、現時点におきましては、2019年5月13日に公表した2020年3月期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	740,167	739,641
売掛金	41,793	44,359
たな卸資産	1,100	917
その他	45,723	57,547
貸倒引当金	△241	△259
流動資産合計	828,544	842,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	899,929	882,277
機械装置及び運搬具（純額）	21,751	18,910
工具、器具及び備品（純額）	23,895	22,680
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産（純額）	50,725	46,213
有形固定資産合計	4,900,469	4,874,249
無形固定資産		
借地権	67,260	67,260
その他	12,581	12,030
無形固定資産合計	79,841	79,290
投資その他の資産		
投資有価証券	473,240	477,555
繰延税金資産	52,821	55,675
敷金及び保証金	88,646	88,646
その他	46,663	47,692
貸倒引当金	△3,795	△3,795
投資その他の資産合計	657,575	665,773
固定資産合計	5,637,886	5,619,314
資産合計	6,466,430	6,461,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,607	84,378
短期借入金	66,348	66,348
リース債務	17,554	17,554
未払法人税等	48,418	12,960
賞与引当金	12,901	23,075
その他	520,869	512,936
流動負債合計	722,699	717,253
固定負債		
長期借入金	145,327	128,740
リース債務	33,171	28,659
退職給付に係る負債	93,289	94,839
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
長期預り敷金	619,064	619,054
再評価に係る繰延税金負債	1,082,196	1,082,196
その他	8,139	8,176
固定負債合計	1,990,094	1,970,573
負債合計	2,712,793	2,687,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	303,719	324,204
自己株式	△8,549	△8,549
株主資本合計	1,299,670	1,320,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,883	1,456
土地再評価差額金	2,452,083	2,452,083
その他の包括利益累計額合計	2,453,967	2,453,540
純資産合計	3,753,637	3,773,695
負債純資産合計	6,466,430	6,461,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	572,512	401,488
売上原価	221,642	211,531
売上総利益	350,870	189,957
販売費及び一般管理費	172,214	167,801
営業利益	178,655	22,155
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,227	2,169
持分法による投資利益	4,681	4,961
その他	191	262
営業外収益合計	7,100	7,393
営業外費用		
支払利息	530	391
その他	1,508	160
営業外費用合計	2,038	551
経常利益	183,717	28,997
税金等調整前四半期純利益	183,717	28,997
法人税、住民税及び事業税	54,170	11,177
法人税等調整額	271	△2,665
法人税等合計	54,442	8,512
四半期純利益	129,274	20,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,274	20,485

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	129,274	20,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	△427
その他の包括利益合計	134	△427
四半期包括利益	129,409	20,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,409	20,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	150,807	290,939	108,228	20,657	570,632	1,880	572,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17,604	—	—	17,604	—	17,604
計	150,807	308,543	108,228	20,657	588,236	1,880	590,116
セグメント利益又は損失(△)	△15,323	234,933	30,177	1,939	251,727	538	252,265

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	251,727
「その他」の区分の利益	538
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△73,607
四半期連結損益計算書の営業利益	178,655

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。4. 報告セグメントごとの資産に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	143,055	143,175	93,692	19,615	399,538	1,949	401,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	17,604	—	—	17,617	—	17,617
計	143,069	160,779	93,692	19,615	417,156	1,949	419,105
セグメント利益又は損失(△)	△7,738	85,285	24,607	1,907	104,062	608	104,670

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版權事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	104,062
「その他」の区分の利益	608
セグメント間取引消去	△25
全社費用(注)	△82,488
四半期連結損益計算書の営業利益	22,155

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。4. 報告セグメントごとの資産に関する情報
該当事項はありません。